

IRミーティング

2014年3月期 第2四半期決算概要

科研製薬株式会社

2013年11月7日

「あなたに笑顔」科研製薬の願いです

注意事項

- 本説明資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。
- 新薬が発売されるまでには、多額の資金と長い開発期間が必要となります。有効性と安全性を確認しながら慎重に開発を進めていくうちには、開発中止となる可能性があります。
- 「開発テーマの状況」は、現時点の開発計画に基づいて作成しております。開発計画の進行に伴い、変更等が発生する可能性があります。

2014年3月期 第2四半期損益実績(連結)

(百万円未満切捨)	2013年3月期 4-9月実績	2014年3月期 4-9月実績	増減	前期比 (%)
売上高	43,523	43,712	188	100.4
営業利益	7,601	7,358	▲243	96.8
経常利益	7,395	7,211	▲183	97.5
第2四半期 純利益	4,616	4,598	▲17	99.6

- 売上、利益ともに、ほぼ横ばい
- 販管費: 13,934百万円
対前同 246百万円の増加
- 研究開発費: 3,478百万円
対前同 283百万円の増加
- 中間配当は24円
(2円増配)

連結貸借対照表

借方

貸方

(百万円未満切捨)

	2013年 3月期末	2013年 9月末	増減		2013年 3月期末	2013年 9月末	増減
流動資産	61,983	55,103	▲6,879	流動負債	35,232	27,079	▲8,153
固定資産	46,928	46,613	▲314	固定負債	7,100	7,149	48
資産合計	108,911	101,717	▲7,194	負債合計	42,333	34,228	▲8,104
				純資産合計	66,578	67,488	910

主な内容 (百万円未満切捨)

- ◆資産 現金及び現金同等物：14,062百万円
- ◆負債 有利子負債：4,220百万円 (▲4,170百万円)
短期借入金の一部を返済
- ◆純資産 利益剰余金：46,696百万円 (+2,699百万円)
自己株式：16,688百万円 (+1,892百万円)

※ B/S上は純資産の減算項目です

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円未満切捨)	2013年3月期 4-9月実績	2014年3月期 4-9月実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,641	6,252
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲3,035	▲1,152
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲3,938	▲7,958
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,519	14,062

※ 営業活動によるキャッシュ・フロー
税金等調整前四半期純利益：7,187百万円

※ 投資活動によるキャッシュ・フロー
有形固定資産の取得：1,111百万円

※ 財務活動によるキャッシュ・フロー
短期借入金の返済：4,170百万円
自己株式取得額：1,892百万円
配当金支払額：1,896百万円

売上内訳(連結)

(百万円未満切捨)	2013年3月期 4-9月実績	2014年3月期 4-9月実績	増減	前期比 (%)
医療用医薬品・医療機器	38,706	38,454	▲252	99.3
農業薬品	1,598	1,749	150	109.4
不動産賃貸料	1,208	1,235	27	102.2
その他	2,010	2,273	263	113.1
合計	43,523	43,712	188	100.4

医薬品・医療機器の売上実績内訳

(百万円未満切捨)	2013年 3月期 4-9月実績	2014年 3月期 4-9月実績	前期比 (%)
アルツ	16,253	16,829	103.5
セプラフィルム	5,145	5,328	103.6
アドフィード等	3,479	3,174	91.2
リピディル	2,012	2,187	108.7
プロサイリン	2,447	2,136	87.3
フィブラストスプレー	1,945	1,901	97.8
エブランチル	1,078	1,128	104.6
ジェネリック医薬品計	4,531	5,056	111.6

・アルツ

ロコモティブシンドロームの啓発をはじめとするDTC活動を継続

・セプラフィルム

外科の消化器がん、産婦人科での帝王切開および婦人科がんへの使用拡大により伸長

・リピディル

錠剤化による使用拡大および脂質関連ガイドラインの普及により伸長

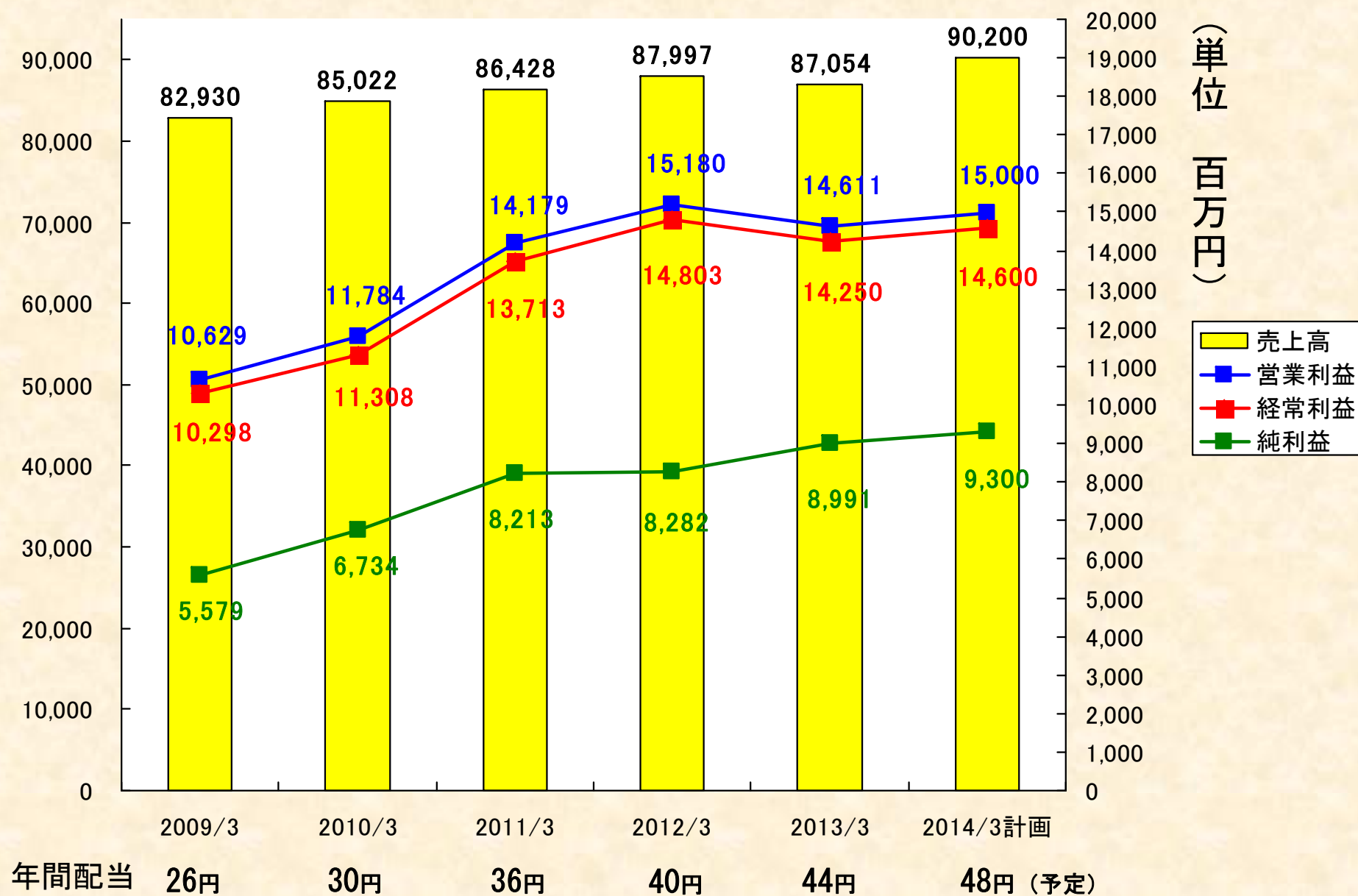
・エブランチル

神経因性膀胱に伴う排尿困難への使用拡大により伸長

・ジェネリック医薬品

既存製品の伸びに加え、6月発売の新製品が増収に寄与

業績推移(連結)



開発テーマの状況

	開発コード	適応症	開発段階	承認予定 (年)	備考
※ 1	KP-103 (IDP-108)	爪真菌症	申請中	2014	外用剤 海外ではバリエント社がカナダにて承認取得、米にて申請中
2	KCB-1D	歯周病	PⅢ	2015	bFGF
3	KCB-1B	骨折	PⅡ 終了 次相準備中		bFGF
4	TRK-100STP	腰部脊柱管狭窄症	PⅡ	2016	東レ株式会社と共同開発 「ベラサス」効能追加
※ 5	KAG-308	潰瘍性大腸炎	PⅠ	2022	旭硝子株式会社と共同開発 経口プロスタグランジン製剤
※ 6	SI-657	腱・靭帯付着部症	PⅢ	2016	生化学工業株式会社と共同開発 「アルツ」効能追加

※: 前回ミーティングから変更のあったもの

2014年3月期損益計画(連結)

(百万円未満切捨)	2013年 3月期 実績	2014年 3月期 計画	増減	前期比 (%)
売上高	87,054	90,200	3,146	103.6
営業利益	14,611	15,000	389	102.7
経常利益	14,250	14,600	350	102.5
当期純利益	8,991	9,300	309	103.4

■ 通期損益計画は当初計画の通り

■ 研究開発費は当初計画の通り77億円

■ 期末配当は24円(2円増配)とし、年間48円(4円増配)を予定

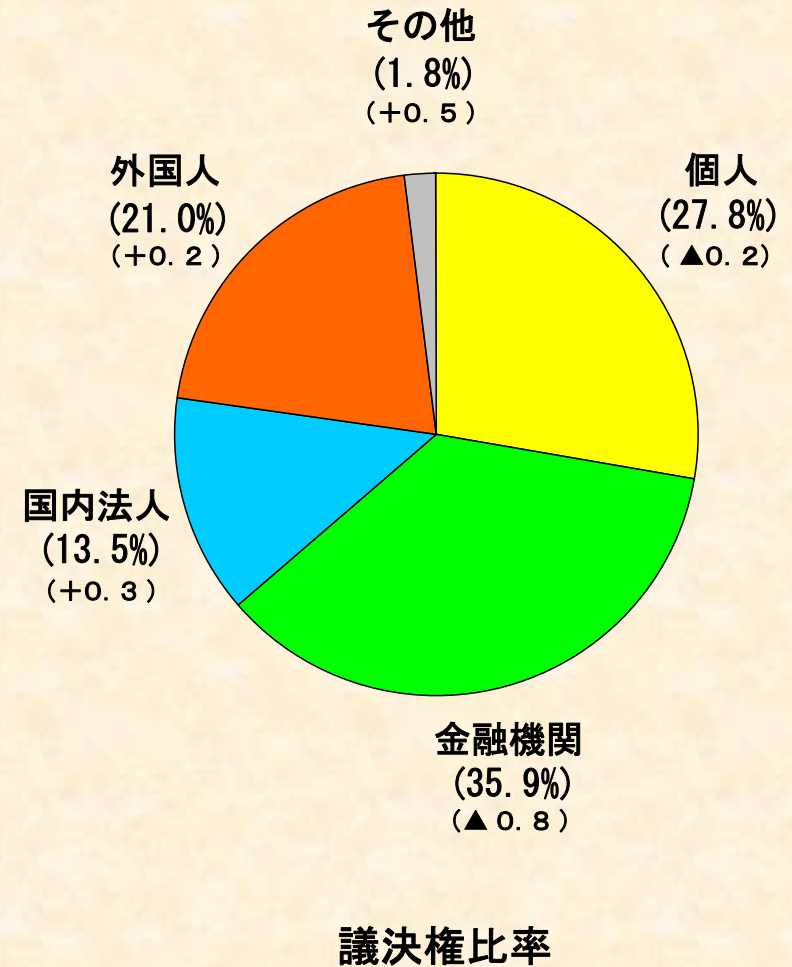
医薬品・医療機器の売上計画内訳

(百万円未満切捨)	2013年 3月期 実績	2014年 3月期 計画	前期比 (%)
アルツ	31,550	33,400	105.9
セプラフィルム	10,363	11,000	106.1
アドフィード等	6,504	6,000	92.3
リピディル	4,082	4,400	107.8
プロサイリン	4,693	4,300	91.6
フィブラストスプレー	3,809	3,900	102.4
エブランチル	2,134	2,300	107.8
ジェネリック医薬品計	9,180	11,400	124.2

- **アルツ**
「変形性膝関節症」の疾患啓発活動を更に充実させ、市場の拡大を推し進める
- **セプラフィルム**
消化器外科、産婦人科への各種使用方法の提案により、浸透率を上げる
- **リピディル**
脂質関連ガイドラインおよび糖尿病診療ガイドライン情報の活用により、更なる拡大を図る
- **エブランチル**
泌尿器関連ガイドライン情報の活用により、ディテールを強化する
- **ジェネリック医薬品**
12月に2品目の新発売を予定

大株主一覽表(2013年9月末)

	会社名または氏名	持株数 (千株)	議決権 比率 (%)
1	日本スタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	5,396	6.4%
2	東レ株式会社	4,589	5.5%
3	株式会社みずほ銀行	3,686	4.4%
4	農林中央金庫	3,686	4.4%
5	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	3,636	4.3%
6	科研製薬従業員持株会	1,714	2.0%
7	日本生命保険相互会社	1,544	1.8%
8	SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT-TREATY CLIENTS	1,504	1.8%
9	杏林製薬株式会社	1,294	1.5%
10	共栄火災海上保険株式会社	1,248	1.5%



※自己株式数: 16,759千株